



インフラとして人づくり

佐藤 明光さん（野沢）

最近「地域の時代」とよく聞きます。一方、地域活動の要である自治会等は、多様化するニーズに追われているようです。

地域づくりの機運が高まる今日、行政は積極的に活動家の発掘と育成にあたって欲しいものです。

その人づくり、組織づくりは必ずや新しいインフラとして確立されると思います。



社会基盤・環境の整備

安心と快適な生活

主な事業

(千円以下切り捨て)

- 防犯交通対策事業…………… 2,250 万円
- 盛岡地区広域行政事務組合負担金 4 億 3,847 万円
- 各地域まちづくり推進委員会活動補助金 …… 498 万円
- 狂犬病予防事業…………… 231 万円
- 盛岡地区衛生処理組合負担金 2 億 1,684 万円
- 溶融（ごみちゃんセンター）管理費 4 億 7,542 万円
- ごみ減量等住民運動支援事業…………… 806 万円
- 村道除排雪事業…………… 1 億 2,954 万円
- 村道維持管理事業…………… 1 億 1,899 万円
- 村道新設改良事業（茨島土沢線ほか）4 億 1,510 万円
- 普通河川維持補修事業…………… 783 万円
- 巢子駅地区まちづくり事業… 1 億 2,522 万円
- 滝沢総合公園整備事業…………… 4,265 万円
- 公共下水道管整備…………… 4 億 6,807 万円
- 配水施設整備事業…………… 1 億 3,350 万円

面積4048㎡、価格約6801万円です。

取得価格は。

公園管理嘱託員の作業内容は。

169カ所の公園管理、遊具点検、樹木伐採などに233日間従事しています。

16年度の除雪体制に問題はなかったのか。

決算額1億2199万円です。16年度は3団地をモデル的に、住民と協働の除雪体制を実施し、小型の除雪機を6台貸し出しました。

問 安全性の高い品目の産業廃棄物を定め、清掃センターで焼却処理する考えはないか。
答 他の自治体では条例による産廃処理を行っているところもあります。村でも農業用廃プラスチックを地域の同意を得ながら試験処理をしています。

問 溶融施設管理の軽減にプラスチック系の容器を再利用して、コークスの代替として利用できないか。
答 現在は中国産コークスを輸入しておりますが、価格の高騰により、管理費も増大しており固形燃料としての処理が可能か調査研究します。

一般会計

反対論

武田 猛見 議員

住民の暮らし向上を優先に、決算をチェックしますと、歳入は交付税などの7億円の減が見込まれる予算編成としながら、結果として大きな減少にならず約2億円の黒字となっています。

しかも、縮小廃止された事業は次年度も継続され、歳出は福祉部門で福祉タクシー・バス、学童保育、乳幼児医療など、保健衛生では各種検診の有料化によって受診率の低下があり、教育では管理費などの縮小による支障があげられます。一方、ごみ焼却場のコストの増大、巢子新駅関連の事業が村財政に大きく負担となっており、決算認定に反対します。